

市民意識調査の意見と対応を紹介します

今後の市政運営に活用するため、平成22年度の市民意識調査を5月に実施しました。10月号でその主な結果を掲載しましたが、先月号から、その意見についての対応を一部要約して連載しています。今月号は【環境福祉部】への意見と対応を掲載します。



【調査概要】三好市全域を調査対象とし、20歳以上の市民1,200人（無作為抽出）に調査票を配布し、505人（回収率42.08%）から回答を得ました。

【保険医務課】

意見 子どもの医療費無料の年齢をもっと上げてほしい。

対応 乳幼児等医療費の助成制度では、対象年齢については現行（小学校3年生修了まで）のままとします。限られた財源の中で、安定的かつ長期的な事業の運営にご理解をお願いします。

意見 市内で、子どもを産み育てていける環境を整備してほしい。

対応 周産期医療については、より高度で安全な

医療が提供できる施設への集約が進んでいます。市民の皆様にとっては不便となりませんが、医師不足が続く現状で安全性を優先の現体制にご理解をお願いします。市では、妊娠、出産、さらには子育てにいたる各段階で、専門家等に相談しやすい体制を整え、体制の充実に向けて取り組みます。

意見 地域医療にしっかりと力を入れてほしい。

対応 市では医療機関や県、大学との連携、市民のみなさんとの協働事業など、地域医療の確保に向け取り組み

を強化しています。徳島県地域医療再生計画では、三好市の属する西部II医療圏（三好市・東みよし町）において、へき地医療の確保や救急医療の充実に向けた施策が予定されています。また、市では地域医療を支えてくださる医師を探しています。市民の皆様からも、地域医療に関心のあるお医者さんについて、情報提供をお願いします。

【健康づくり課】

意見 総合健診の時期を夏ではなく、春か秋を希望する。（夏は水分がとれない

意見 子供の体調が悪い時に預かってくれる場所があればよい。

対応 医療機関に委託するなど病児・病後児保育の導入を検討します。

対応 三好市ではがん検診と特定健診を併せて、総合検診として実施しています。このうちがん検診は、実施時期に制約はありません。したがって、がん検診のみであれば、春または秋に実施することも可能です。一方、特定健診は、皆様が加入されている医療保険組合ごとに受診券の発行時期が異なり、遅いところではそれが7月頃となることや、検診後の保健指導に6か月間を必要とすることなどから、受診券発行前の年度の早い時期、あるいは指導期間が確保できない年度の後

間に30か所くらい有った。市の方で立看板とか、ケーブルテレビで後始末を必ずする案内などお願いする。

対応 ふんの後始末は飼い主のモラルによる問題ですが、これまで以上に意識啓発に取り組んでいきます。なお、看板については無料配布しておりますので環境課までご相談ください。

意見 生活排水の処理問題について、合併浄化槽による排水処理を促進するのが得策。ただ、維持管理を適正に行う必要があるため、市が直接負うのが望ましい。

対応 清潔で快適な生活環境づくりを進めるとともに、豊かな水辺環境を守るため、吉野川をはじめとする公共用水域の水質保全や改善を図られるよう、今後とも合併処理浄化槽事業の推進や啓発活動を積極的に進めてまいります。

【子育て支援課】

意見 池田や井川地区に比べると東西祖谷などは、休みの日などに子供を預ける所が少なく、両親が働いている家庭には負担が大きい。

対応 地域（保護者）の要望により「放課後児童クラブ」を開設し、放課後や三期休業時の安全と保護者の就業支援を目指します。

意見 子育て支援センターを毎日開けてほしい。

対応 子育て支援センターの休所日には、ベビーマッサージなどその他の行事を実施しておりますが、今後検討します。

意見 保育料が高すぎる。仕事をしたいが、保育料だけを稼ぐぐらいしか収入がない。

対応 四国一子育てしやすい三好市を目指し、保育所保育料を国基準より低く設定し、保護者の負担軽減を図ります。

意見 子供が外で遊ばなくなったと言われているが、遊ばなくなっている状況もある。放課後に気軽にいけるような場所で遊べる場所があればよい。

対応 市内に6か所ある児童遊園の設備充実を図るとともに、その他の公園についても担当課と協議を進め児童が安全に遊べる場所の確保を目指します。

ので苦痛である）

意見 道路の草刈りをしたが、犬の糞尿の多さに驚いた。10メートルくらいの

お問い合わせ先
三好市行革推進室（電話 72-7629）